

平成30年度 第7回 運営会議ニュース

日 時	平成30年11月11日(日) 13:30~15:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	10名

議題1: 園路際の植物保護について

(公園) 石積みの除草作業で不手際があり、根ごと草取りをしてしまった。今後は原則として石積みの草取りは行わず、行う場合には必ず事前調整するよう指示した。

(会長) 今回、貴重な多年草やシダ類も生える場所で根ごと草取りが行われたため、公園にクレームを出した。公園側とすれば来園者の通行に支障がある等の見方がある中で、これまでは植物保護区域を除外して草刈りが行われていた。平成26年度以降は保護植物の確認ができていないので、再度メンバーで共有したい。公園は、今後は作業前に当会議に諮ってほしい。⇒(グリーンタフ) 徹底して作業し過ぎでは。(谷戸ボラ) 盗掘防止のため保護区域の明示ができず、密かに見守っていた。(草取りはされないと思い) 安心してしまった。

議題2: 各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●谷戸田の会(欠席のため、公園管理事務所から報告)

5日に黒米の稲刈りと稲架掛け(はざかけ)を行い、10日に足踏み式脱穀機を使用して赤米の脱穀を行った。17日に臨時で黒米の脱穀を行う。23日は赤米と黒米のもみすりを行う。

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ(略: グリーンタフ)

10月の定例自然観察会の報告等: ナンバンギセル、イネ科のススキ・オギ・ヨシの違い、マメ科のツルマメ・ヤブマメ・ヤブツルアズキ(食べる小豆の原種)の違い、ママコノシリヌグイ、オオオナモミ(野鳥の原っぱのキリの木の周辺に1本発見)、タイワンホトトギス等の観察等を行った。

●座間のホタルを守る会(略: ホタルの会)

・わきみずの谷の源流部(北奥谷戸)の休耕田を耕し、ミゾソバ等の草刈り及び畦を作るために刈り草を畦に積む作業を行った。また、田に水がたまるように泥上げを行った。カワニナ及びホタルの幼虫の今後の成長に期待したい。次回は、南谷戸の水路周辺の草刈りを行う。

・(南谷戸まで行く時に水鳥の池の横を通らないようにするため)上の野鳥観察小屋の横から下りる通路(急傾斜地は階段も)を簡易的でよいので復元してほしい。⇒一緒に現地を確認して検討する。

●専門委員

12月の運営会議の日の午前中にカエル2号沼の手入れ(カエルの産卵場所の整備)を行うので、手伝ってくれる方は協力をお願いしたい。ちなみに、3号沼はどのような手入れ状況か。⇒(ホタルの会) 3号沼は先月に当会で手入れを行った。次回手入れができるのは春先になってしまうが、産卵場所としては今の状態で機能するのでは。また、北奥谷戸の田んぼの畦の内側に水がたまるようにしたので、アカガエルの産卵場所としても期待できる。⇒(専門委員) 2号沼は北水路からの流入水で泥がたまってしまう。⇒(会長) 以前は2号沼北西(アオキ原)側から水が流れてきたが今は流れていないので、北水路からの流れを止めると水がたまらないのでは。ウシガエル(特定外来生物)の幼体が湿生生態園の下池やわきみずの谷の池などに分散しているのが目立つ。草刈りをするとなってくる。

●谷戸山自然ボランティア(略: 谷戸ボラ)

・南谷戸に入る日(最低でも1カ月の予定)を野鳥観察小屋に掲示してほしい。⇒里山体験館前と野鳥観察小屋にホワイトボード等で作業日を記載する。⇒11月21日設置済

・カイツブリが水鳥の池に飛来したがいなくなった。池に魚が少ないからでは。魚礁を増設してほしい。⇒(公園) 今年も設置する。水生植物の植栽も行う予定。

・数年前より野鳥の数が少なくなっている。特に冬の潜水カモや東屋付近に来ていたカケス、アオゲラが少ない。エサになる実が少ないのでは。

・里山体験館下の水路周辺を手入れした。前回の手入れで生育が改善したウグイスカグラの周辺も行った。

- ・野鳥が食べる実の成る木であるナンテンをアオキ原から野鳥観察ウォール周辺に移植した。
- ・わきみずの谷でクサレダマ保護区域以外の場所もセイタカアワダチソウを抜き取った。今月も引き続き行う（本当は春先に抜き取った方がよい）。
- ・西口通用門から入った横の石垣の草取りを行う。
- ・わきみずの谷のイチリンソウが生える区域について、去年は春に草刈りを行ったためにツルニガクサが全滅してしまったが、今回は適切な時期に行いたい。

●写楽会

- ・野鳥が少なくなった。園内の環境が変わってしまったからでは。園路以外の樹林地では、コゲラの巣作りにも使われる枯れ木や枯れ枝を残してほしい。

●厚木土木事務所東部センター

- ・年明けに木製階段の擬木化工事を開始する。
- ・ログハウスと昆虫の森のエリアで危険木処理を行う木に白いテープを巻いた。位置図をメールで送るので確認していただきたい。危険木の処理は必要最小限にしたいと考えているが、園路沿いの枯れ木や枯れ枝は安全のために切りたい。
- ・竹林の伐採（抜根まで）を 11 月 19 日から 1 週間程度行う。
- ・東口トイレの便器の洋式化等の工事を行う際、夕方以降も男女とも 1 箇所は使えるようにしたい。
- ・「県のたより」で冬鳥が見られる公園として当公園が紹介される。
- ・今後、ログハウスのビオトープ池の在り方を検討していきたい⇒（ホタルの会）雨水を利用するシステムにしては。（谷戸ボラ）野鳥が水飲みを訪れる。（専門委員）ヒキガエルの産卵場所になっている。

●公園管理事務所（略：公園）

- ・野鳥観察ウォール周辺からカエル号沼周辺にアライグマ（特定外来生物）の捕獲罠を移設し、11 月に入ってから 2 頭を捕獲した。うち 1 頭は体重 7.3k g の雄で、過去に捕獲した中では最大だった。
- ・今月の里山保全隊は、公園まつりの準備を行う。公園まつりは 24 日に行い、赤飯の配付やネイチャーゲーム等々のイベントを実施する。開園 25 周年を記念した谷戸山公園写真展も行う。
- ・今年も水鳥の池に魚礁を設置する。
- ・12 月にわきみずの谷デッキ周辺の草刈りを行う。また、昆虫の森、皆伐区域、クヌギ・コナラ観察林の樹林地の下草刈りも行う。
- ・ログハウスのビオトープ池の漏水修繕を行う場合、池にいる小魚等をどうすればよいか。⇒（会長）モツゴ等なので、水鳥の池に放流してよい。

次回開催日時	12月9日（日）13：30～16：00
--------	---------------------

※運営会議後の進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。